

平成20年度の財務諸表は、昨年までの財務諸表と算出方法が異なる「総務省方式改訂モデル」で作成しています。

今回お知らせしているのは、平成20年度決算における市の普通会計（一般会計、学校給食費特別会計）の指標です。詳細については、市ホームページでもご覧いただけます。



貸借対照表(バランスシート)

貸方(負債の部)	
負債	借入金(市債)
	549億6千万円
	退職手当引当金 82億1千万円
	未払金など 47億6千万円
負債計	679億3千万円
純資産	
	国、県の補助金
	361億7千万円
	資産形成に使った一般財源など
	1,218億1千万円
総資産計	1,579億8千万円
計	2,259億1千万円

●借入金

学校、道路などを建設するため、市が銀行や国などに借金しているお金の残高です。

●退職手当引当金

市の職員が年度末に全員が退職すると想定した場合の退職金の総額です。実際は全員が一緒に退職することは考えられませんが、将来発生するものとして負債に計上しています。

●純資産

学校、道路などを建設するために使った国や県からの補助金や、税金などの総額です。

※数値は四捨五入で作成

貸借対照表

貸方	
負債	72.1万円
純資産	167.6万円
負債・純資産計	239.7万円

市民1人あたりでは…

- 資産 239.7万円
- 負債 72.1万円

市の財務状況を分かりやすくするため、資産額、負債額などを市民1人あたりの金額に置き換えてみました。

※数値は四捨五入で作成

市の財政状況をできるだけ分りやすく市民のみなさんに知っていただくため、平成20年度の「市の家計簿」である貸借対照表、行政コスト計算書、資金収支計算書を作成しました。財務書類は、単に公表・作成するだけでなく、今後の行政運営に活用することが期待されています。

●チェック。『市の家計簿』 高山市の財政のすがた